

単元名

どえりゃあ笑顔あふれる西城に！

本単元で育成する資質・能力

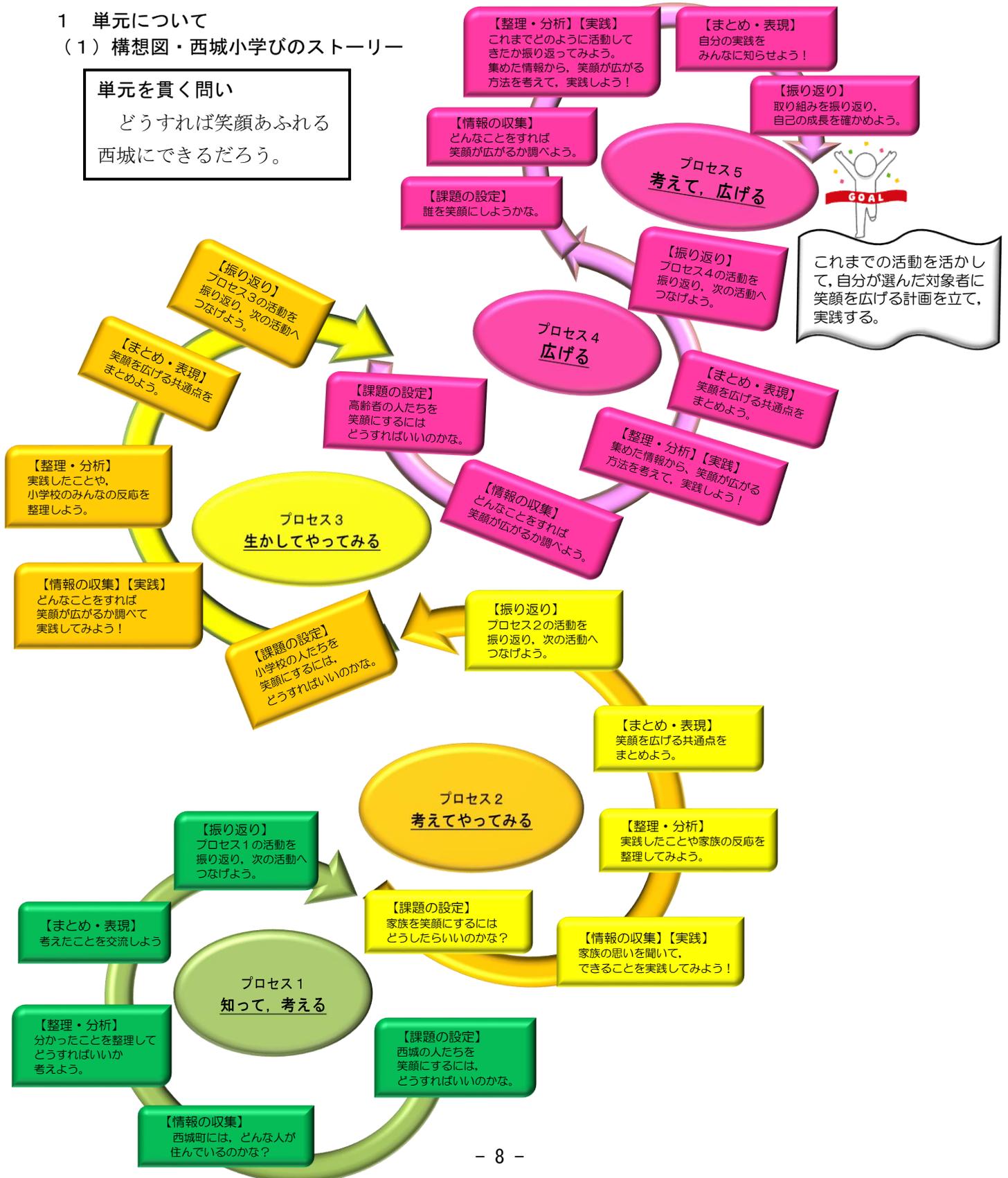
①主体性 ②協調性 ③課題解決力

1 単元について

(1) 構想図・西城小学びのストーリー

単元を貫く問い

どうすれば笑顔あふれる
西城にできるだろう。



ストーリーの流れ

第4学年では、西城町を笑顔あふれる町にすることを目標にして活動していく。その中で、高齢者を支援する工夫などいろいろな人たちが取組を行っていることにも気付かせていきたい。

まず、「知って、考える」をテーマとして取り組む。西城町の人口の割合から、どのような人が住んでいるのかを知る。そこから全体のテーマにもつながる「笑顔を広げるには、誰にどんなことをすればよいのか」を考える。自分たちの考えを交流し合う中で、相手の考えも聞くことが大切であることに気付き、まず身近な家族を笑顔にすることについて取り組むという見通しをもつ。

次に、「考えて、やってみる」をテーマとして取り組む。「相手の考えを聞いて実践する」という案から、一番身近な家族を笑顔にするために、家族と話をしながらできることを実践する。その活動から、自分も相手も笑顔になるために大切なことをまとめる。これからの活動を見通して、家族以外でも使えるようにまとめる。

そのまとめを「生かして、やってみる」ことに取り組む。西城小学校の児童に笑顔を広げるための方法を考えて実践する。家族の時と同じ流れで活動を行い、活動の見通しをもって主体的に活動できるようにする。

最後には、「広げる」「考えて広げる」をテーマにして、町の中でも多くを占める高齢者を笑顔にすることに取り組む。福祉施設等の人の話を聞くことを通して、どうすれば笑顔を広げることができるのか、自分たちにできることを考えて実践する。「広げる」までは、全体で活動を進めていくが、「考えて広げる」では、各児童が決めた対象者にも笑顔を広げるための活動を取り入れる。これまでの活動の流れや課題の解決方法、実践の方法などを生かして活動することに取り組ませる。

(2) 児童観

本学級の児童は、3年時にトウモロコシの種まき・収穫体験を通して、油木地域のトウモロコシのおいしさから栽培している人たちの工夫や努力に気付くことができた。それらをまとめたりゆるキャラを考えたりすることを通して、西城町の「ひと・こと・もの」のすばらしさを知り、それを大切にしたい、いろんな人にも知ってもらいたいという思いをもつことができた。

本校の育成したい資質・能力の具体について実施したアンケートの結果は以下ようになった。

資質・能力	アンケート項目	肯定的評価の割合	
		5月	7月
主体性	疑問に思うことや知りたいと思うことを授業で質問したり、疑問に思ったことや知りたいと思うことを家庭学習で調べたりしようとしています。【主体性】	22.2%	42.1%
	自分の得意なことを授業やいろいろな場面の中で生かそうとしています。【自己理解】	38.9%	66.7%
	将来やってみたいことややりたい仕事があって、そのための勉強をがんばっています。【将来設計】	77.8%	77.8%
協調性	ペアやグループの話合いでは、友達の意見や考えを聞いたり、自分の考えを話したりして、話し合いを進めようとしています。【他者理解】	38.9%	63.2%
課題 解決力	課題を解決するための方法をいくつか考えたり、解決するための順番を考えたりすることができます。【課題の設定】	44.4%	44.4%
	調べる内容によって、調べ方を選んで、情報を集めたり、必要な情報を選んだりすることができます。【情報収集】	44.4%	52.6%
	集めた情報を比べたり、なかま分けをしたり、数で比べたりして、特徴を見つけることができます。【整理・分析】	44.4%	57.9%
	調べて分かったことや、考えたりしたことを相手や目的に合わせて工夫してまとめ、相手に分かりやすく発表したり書いたりすることができます。【まとめ・表現】	27.8%	63.2%

	何を学んだのか、どのように解決したのかを振り返り、「もっと考えてみたいこと」「もっと工夫してみたいこと」などを考えて、次の学習につなげようとしています。【振り返り】	38.9%	47.4%
--	------------------------------------------------------------------------------------	-------	-------

この結果から、ペアやグループでの話し合い活動や、調べたことをまとめて発表することについては、肯定的にとらえている児童が増えていることが分かる。しかし、主体性、課題解決力の解決するための方法や順番を考えること、何を学んだのかを振り返り、次の学習につなげることには課題があると考えられる。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、次のことに留意して指導を行う。

- ・自分たちが考えたことを実践すること、実践を振り返って次の課題につなげていくことを繰り返していくことで、児童が主体的に学習に取り組みながら、課題解決力を高められるようにする。
- ・福祉施設や保育所などいろいろな人と実際に関わることで、新たな課題を見付けたり、自分の考えを広げたりすることができるようにする。
- ・必要に応じて思考ツールを取り入れることで、情報や自分たちの考えを視覚的に整理・分析して、次の活動につなげられるようにする。

2 ストーリー的目標

- ・笑顔あふれる西城町にするための活動を通して、福祉施設などいろいろな人に話を聞くことで、その人たちの思いと自分たちの願いの共通点に気付き、自分たちができることを考え、相手に応じた方法を考えて、笑顔あふれる西城町にするための活動に取り組むことができる。

3 総括的な評価の方法

(1) ストーリーのゴールイメージ

いろいろな人に話を聞きながら、笑顔を広げる方法を考えて実践していく。最後には、自分が笑顔を広げたい対象者を決めて、計画を立てて実践する。

(2) ストーリーのルーブリック

評定	観点
A	笑顔を広げたい対象者を決め、自分の考えをもとにグループで話し合い、計画を立てて、実践することができる。
B	笑顔を広げたい対象者を決め、グループで相談しながら計画を立てて、実践することができる。
C	笑顔を広げたい対象者を決めることができない。

4 プロセス4の評価規準と本校で育成したい資質・能力とのかかわり

評価の観点	本校で育成したい資質・能力	評価規準
主体的に学習に取り組む態度	主体性	①笑顔あふれる西城町にしたいという目的意識や課題意識をもって、意欲的に探究活動に取り組もうとしている。【主体性】 ②笑顔あふれる西城町にするための活動を通して、自分のよさや自分にできることを理解しようとしている。【自己理解】
	協調性	③異なる意見や他者の考えを受け入れようとしている。【他者理解】 ④笑顔あふれる西城町にするための活動を通して、友達や地域の方など相手の立場を考え、他者と協働しようとしている。【協働性】

知識・ 技能	課題解決力	⑤福祉施設など人々を支援する仕組みやそこで働いている人々の工夫や努力を理解している。【知識の概念化】
思考・ 判断・ 表現		⑥探究的な活動を進める中で、調査活動や情報収集などの手順を他の場面や状況で活用することができている。【技能の身体化】 ⑦高齢者に関わっている人など、いろいろな人に関わっている人の思いを知り、その中から課題を見いだしている。【課題の設定】 ⑧いろいろな人に笑顔を広げるための方法や手順を考え、見通しをもっている。【課題の設定】 ⑨目的に応じて手段や方法を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。【情報の収集】 ⑩活動と結果を振り返り、事実や関係、特徴を見つけている。 【整理・分析】 ⑪視点を明確にして事象や考えを比較したり関連付けたりして考え、情報を分析している。【整理・分析】 ⑫調べたり考えたりしたことを、相手や目的、意図に応じて工夫してまとめ、表現している。【まとめ・表現】 ⑬笑顔あふれる西城町にするための活動の仕方を振り返り、学習や生活に生かしている。【振り返り】

5 指導と評価の計画（全 70 時間のうちのプロセス 4 15/70 時間）

時	学習内容 ◎他教科等とのつながり	評 価			
		知	思	学	
1	課題の設定 ・高齢者のために自分たちができることは何があるのか考える。 ・これまでの経験や、家族などへの聞き取りから自分の考えをもつ。 学習の見通しをもつ			○	主-① (行動観察・ワークシート)
② 3	情報の収集 ・高齢者の特徴について調べる。 ・ゲストティーチャーの話を聞く。 ・高齢者の特徴を知り、自分の考えを修正する。 高齢者の特徴や願いについて情報を収集する。 ◎国語科の学習「たしかめながら話を聞こう」	○			課-⑤・⑦ (行動観察・ワークシート)
4 5 6 7	整理・分析 ・収集した情報をまとめて、自分たちは高齢者に何ができるか考えを練る。 ・具体的に何ができるのか、実際にできることなどを意見を出し合い、まとめていく。		○		協-③・④ 課-⑥・⑧・⑨・⑪ (行動観察・ワークシート)

	高齢者のために、自分たちにしかできないことがあることに気付く。			
8 9 10 11 12 13	<p>実践</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えた方法を実践する。 相手のことを思いながら準備に取り組む。 <p>体験を通して、高齢者のために、自分たちにしかできないことがあることに気付く。</p>		○	主-①・② 協-④ (行動観察・ワークシート)
14 15	<p>まとめ・表現</p> <p>実践したことから、大切なことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手を笑顔にするために大切なことは何かを考える。自分はどんな時に笑顔になっていたかを振り返り、笑顔あふれる西城町にするための大切なポイントをまとめる。 <p>今回の活動を通して、笑顔あふれる西城町にするために大切なことは何かをまとめる。</p>		○	課-⑩・⑫・⑬ (行動観察・ワークシート)

6 本時の学習

(1) 本時の目標

福祉施設の人の話を聞くことを通して、その人の思いを知るとともに、高齢者の笑顔を増やすために自分たちにできることについてグループで話し合い、考えを深めることができる。

(2) 本時のルーブリック

評定	児童の姿
A	話を聞いて分かったことから、自分の考えを修正したり新たな考えをもったりすることができる。
B	話を聞いて分かったことから、自分の考えを修正することができる。
C	話を聞いて分かったことから、自分の考えを修正したり新たな考えをもったりすることができない。

(3) 学習の流れ (2時間目/全15時間)

学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て) (◎深い学びを実現するための指導の手立て)	評価規準 (○) 資質・能力 (★) (評価方法)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>社会福祉協議会の人話を聞いて、高れい者の人が笑顔になる方法を考えよう。</p> </div> <p>2 ゲストティーチャーの話聞く。 ・「あふれる笑顔 この地域に」というキャッチフレーズは、自分たちが取り組んでいることと同じであることを知る。 ・話を聞き終わった後、情報を集めるためにもっと聞いてみたいことがあるときには、質問をする。</p> <p>3 高齢者も自分も笑顔になる方法を考える。(個人→グループ) ・自分の考えを修正する。 ・修正した考えをグループで協議する。</p> <p>4 全体で交流する。 ・グループで考えた方法を全体で発表する。 ・各グループの考えについて、ゲストティーチャーからアドバイスをもらう。</p> <p>5 本時を振り返り、次時につなげる。</p>	<p>◇社会福祉協議会はどんな目的で何をされているのかを聞いて、メモをとるように伝える。 ◆ゲストティーチャーと事前に打ち合わせを行うことで視覚的な支援を準備し、話の内容を理解させる。</p> <p>◎話を聞いて修正した自分の考えをもとにグループで意見交流させる。</p>	<p>○話を聞いたことやグループで交流することで、高齢者を笑顔にするための方法について、自分の考えを更新している。 ★課題解決力 (ワークシート、発言)</p>
<p>(児童の振り返り例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の人たちも、私たちと同じテーマで活動していると知ってびっくりしました。一人暮らしの高齢者が多いので、一緒に活動してみんなが楽しめるようなことを考えて笑顔あふれる西城にしていきたいです。 ・社会福祉協議会の人たちはいろいろな人に合わせて活動を考えていることが分かりました。ぼくも相手のことをよく知ってから、相手が喜ぶ活動を考えたいと思います。 		

(4) 板書計画

めあて

社会福祉協議会の人話を聞いて、
高れい者の人が笑顔になる方法を考えよう。

社会ふくし協議会

あふれる笑顔 この地域(まち)に

グループの考え